

損害車の買取 全国展開

国内主要都市に18支店

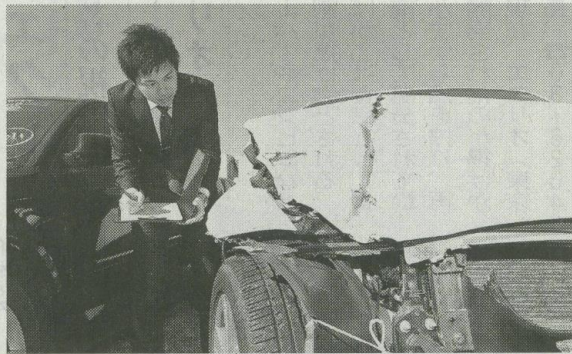
タウ

海外事業拠点も拡充へ

損害車の買取でトッ
プシェアを誇るタウ

(さいたま市、宮本明
岳社長、☎048・6
01・0811)は、

国内主要都市に18の
支店を構え、事業エリ
アを全国に広げてい
る。海外拠点について
も、東南アジアやアフ
リカなどで拡充を図っ



損害車は120カ所
査定する

万800
0台にな
る見込
み。最近
では乗用
車だけで
なく、ト
ラックや

ていく。同社は日本と海外と
の損害車に対する価値
観や修理価格の差に着
目し、事故や災害、故
障で損傷した車両を中
心としたリユースビジ
ネスを展開している。

今期の仕入台数はリユ
ース向け車両と解体業
者に引き渡す車両を合
わせて7
万800
0台にな
る見込
み。最近
では乗用
車だけで
なく、ト
ラックや
建設機械などの扱ひも
増やしている。
車両は自動車関連業
者、損害保険会社、リ
ース会社、一般個人か
ら仕入れ、120カ所
の査定を行う。損害車
を活用する仕組みは、
最適なりユース・リサ
イクルの方法を選択す
るカー・トリアージ
を用いて、損壊度と走
行距離に応じて修復利
用、部品利用、素材利
用に選別する。



事故や災害、故障で損傷した
車両を仕入れる

商品は独自に開発し
たオークションサイト
性・透明性を確保して

いる。販売先が決定し
た車両はロシア、アジ
ア、南米、中東を中心
とした約110カ国に
中古車として輸出し、
現地で修復が行われ
る。
海外拠点はオースト
リア、ロシア、UA
E、チリ、ミャンマー
の5カ国にオフィスを
構える他、販売エー
ジントを17カ国に配
置している。新興国では
自動車需要が旺盛な
上、日本車のニーズが
高く、修復歴がある自
動車への抵抗感も少な
いことから、インドネ
シアやベトナムなどの
東南アジア、アフリカ
の国々で販売マーケッ
トのさらなる拡大を進
める。

宮本社長は「日本で
はリユース目的での販
売が難しい損害車であ
っても世界各地で修復
され、多くの人々に喜
ばれてきた。今後は損
害車だけでなく、中古
機器の販売にも力を入
れ、グローバルな循環
型社会の構築の実現を
目指していく」と述べ
ている。